

(資料1)

四国森林管理局管内の木材価格等の推移
(最近の動向)

令和3年9月28日
四国森林管理局

目 次

I	管内における主な原木市場・共販所の状況	
1	県別丸太価格の推移	1
2	県別丸太取扱量の推移	6
II	管内における製材用素材の状況	
1	製材用素材入荷量の推移	9
2	製材用素材在庫量の推移	10
III	全国の丸太価格の動向	11
IV	住宅着工戸数	
1	四国における木造住宅着工戸数の推移	13
2	全国の住宅着工戸数の推移	14

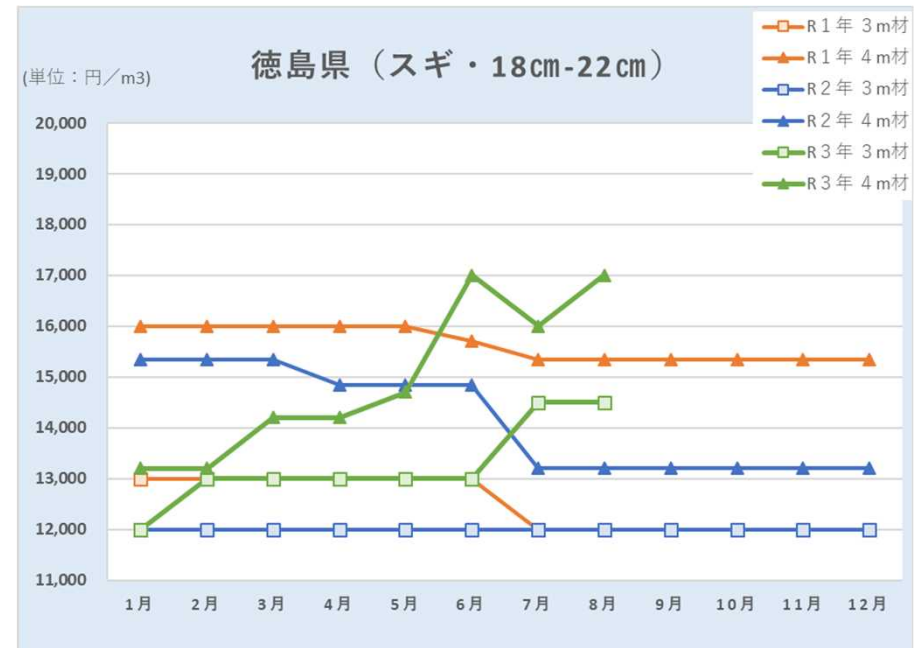
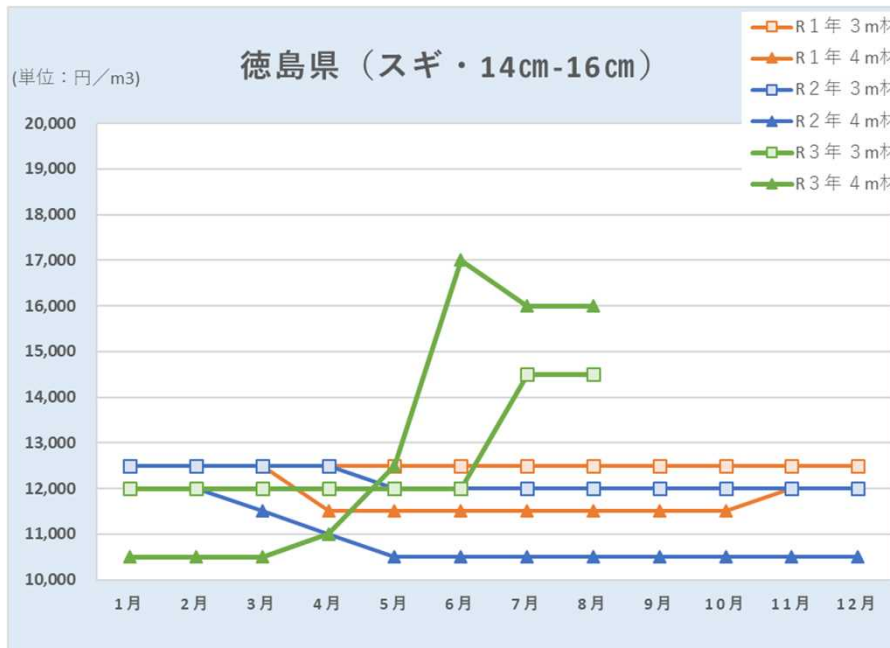
管内における主な原木市場・共販所の状況

1-(1) 徳島県内のスギ丸太価格の推移

- ▶ 例年ほぼ安定している相場も令和2年4～5月頃に大幅に下落、その後、横這いを辿り、年明け頃から引き合いも強くなり、値上がり傾向に転じた。
- ▶ 買方の引き合いも強い状態が続き、価格は5～6月にかけて高騰し、以降、高値で安定し継続している。
- ▶ 本年8月のスギ丸太価格は、対前年比21%増から52%の増。

○ 8月のスギ丸太価格 (単位：円/m3)

	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和2年	12,000	10,500	12,000	13,200
令和3年	14,500	16,000	14,500	17,000
対前年比	2,500	5,500	2,500	3,800
	121%	152%	121%	129%

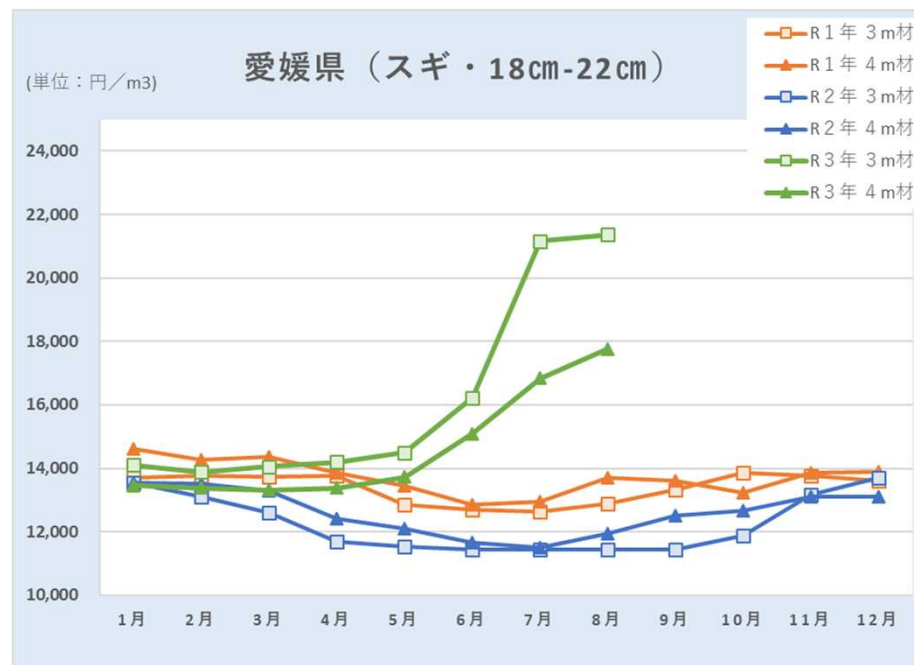
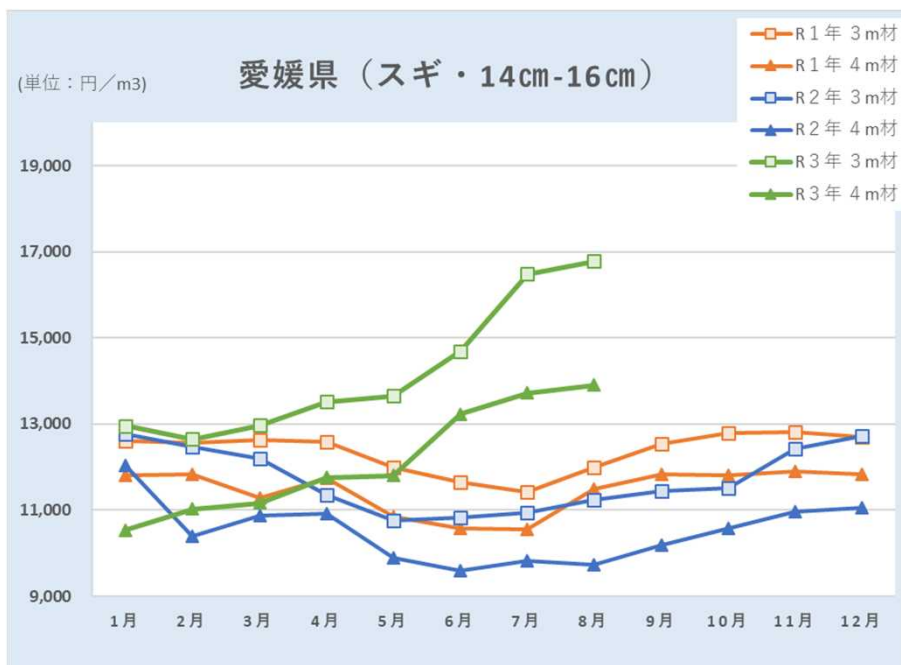


1-(2) 愛媛県内のスギ丸太価格の推移

- 令和2年は4～5月に大幅に下落、その後8月頃から原木の引き合いが良くなり価格も上向きに転じ、12月頃からは前年と同時期の水準まで概ね回復。
- 本年4月頃からは、構造用材を中心に引き合いも強くなり、6月頃からは外材の大幅な入荷減少により代替え需要が高まり、価格が高騰し、以降、強保合で推移、堅調相場が続く。
- 本年8月のスギ丸太価格は、対前年比43%増から87%増。

○ 8月のスギ丸太価格 (単位：円/m³)

	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和2年	11,230	9,733	11,433	11,933
令和3年	16,783	13,903	21,367	17,763
対前年比	5,553	4,170	9,934	5,830
	149%	143%	187%	149%

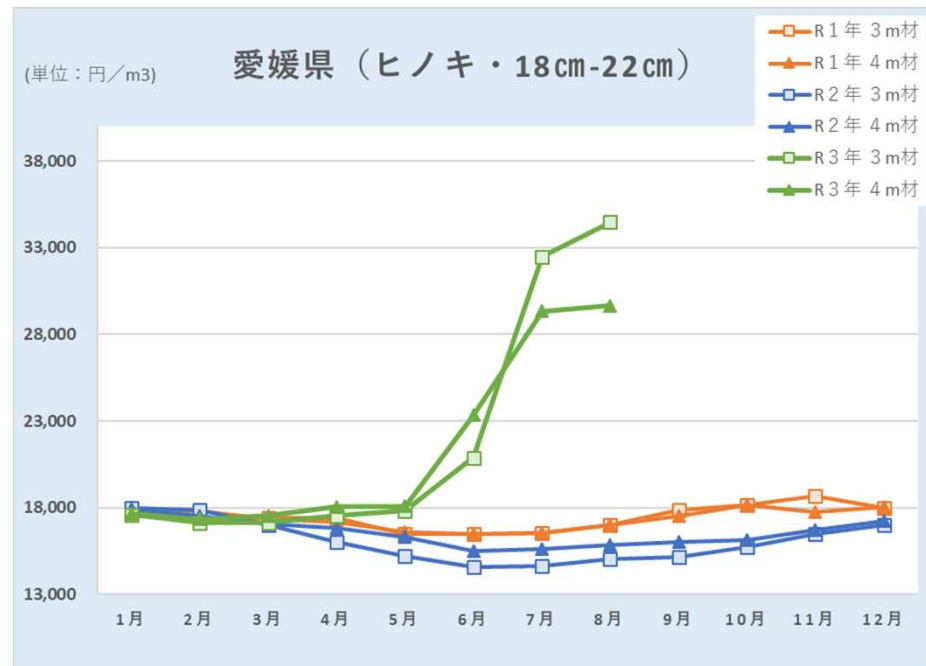
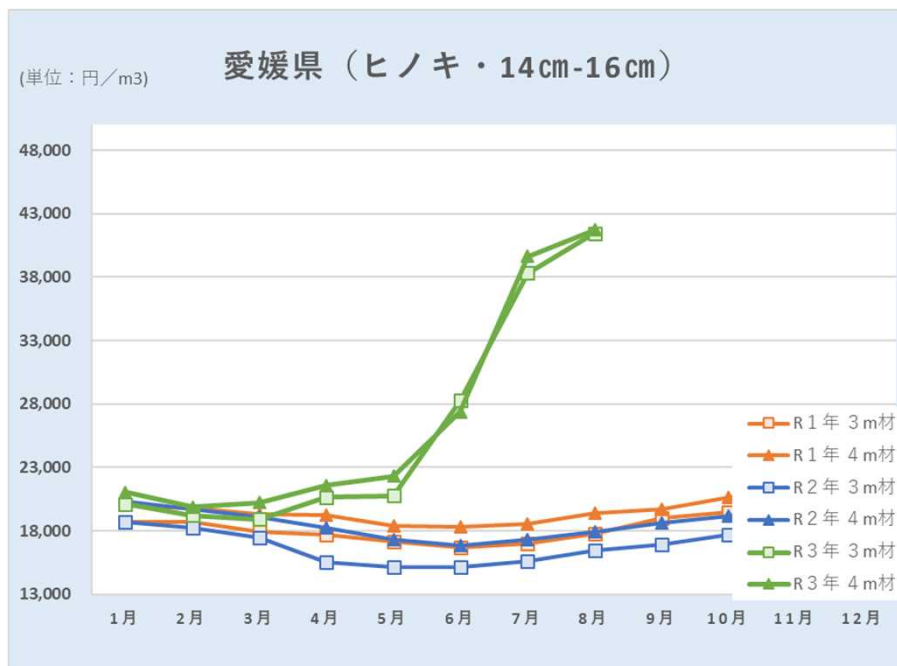


1-(3) 愛媛県内のヒノキ丸太価格の推移

- 令和2年は4～5月に大幅に下落、ヒノキもスギと同様の傾向にあり、7月頃からは原木の引き合いが良くなり価格も上向きに転じ、1月頃には前年と同時期の水準まで概ね回復。
- 本年4月頃からは、スギと同様に構造用材を中心に引き合いも強くなり、6月頃からは外材の大幅な入荷減少により代替え需要が高まり、価格が高騰し、以降、強保合で推移、堅調相場が続く。
- 本年8月のヒノキ丸太価格は、対前年比87%増から152%増。

○ 8月のヒノキ丸太価格 (単位：円/m³)

	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和2年	16,424	17,950	15,053	15,867
令和3年	41,457	41,733	34,467	29,667
対前年比	25,033	23,783	19,414	13,800
	252%	232%	229%	187%

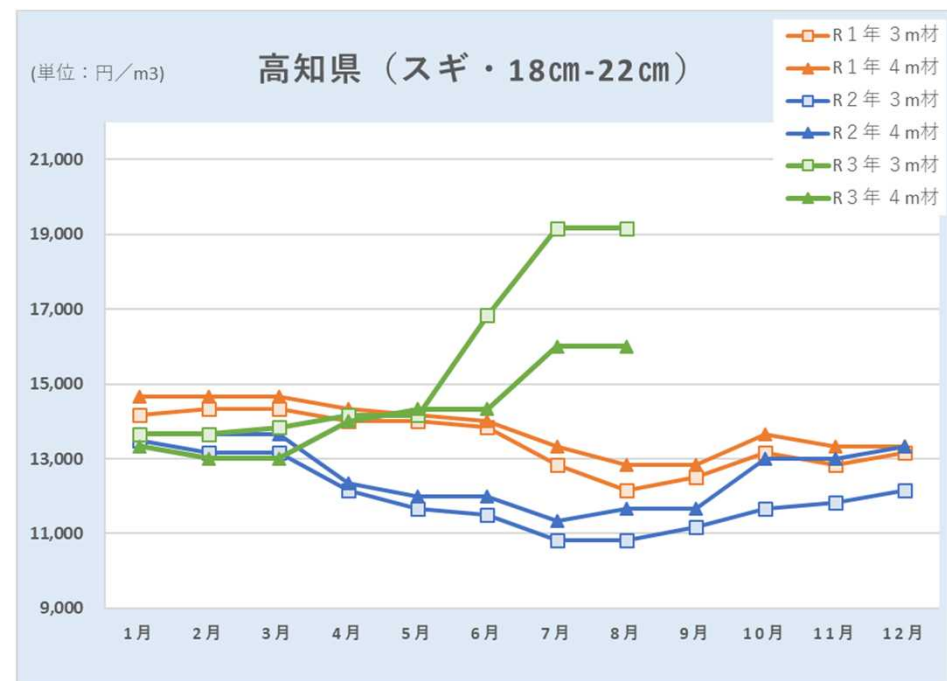
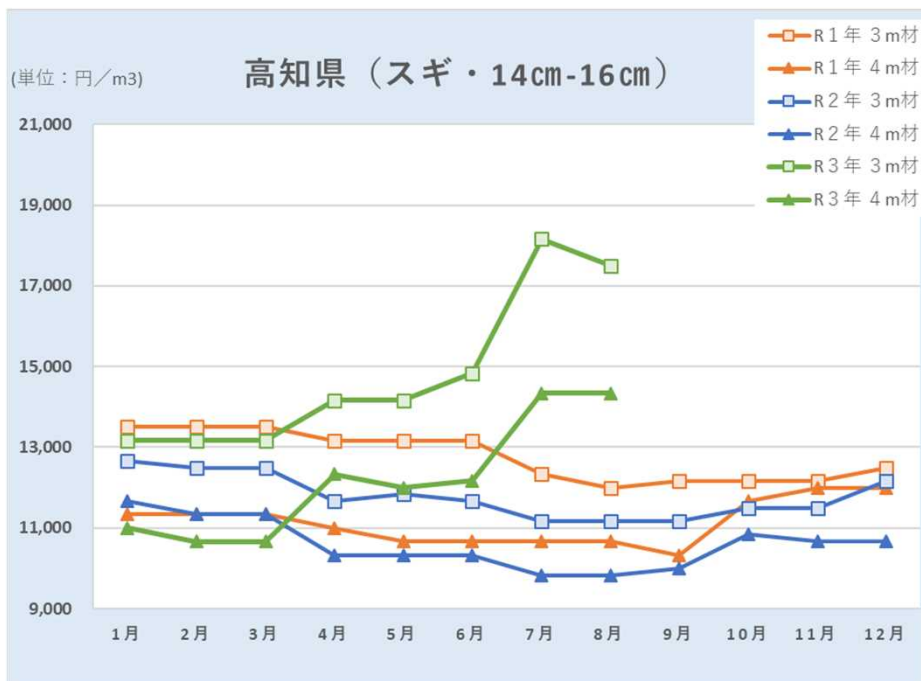


1-(4) 高知県内のスギ丸太価格の推移

- 令和2年は4月頃から梅雨期にかけて大幅に下落、その後9月頃からは回復傾向に転じ、1月頃には前年と同時期の水準まで概ね回復。
- 本年4月頃からは、製材品の好調な動きから買方の引き合いも良く、品薄・価格上昇の傾向が続き、原木需要の高まりにより7月頃には大幅に価格上昇し高値を維持。
- 本年8月のスギ丸太価格は、対前年比37%増から77%増。

○ 8月のスギ丸太価格 (単位：円/㎥)

	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和2年	11,167	9,833	10,833	11,667
令和3年	17,500	14,333	19,167	16,000
対前年比	6,333	4,500	8,334	4,333
	157%	146%	177%	137%

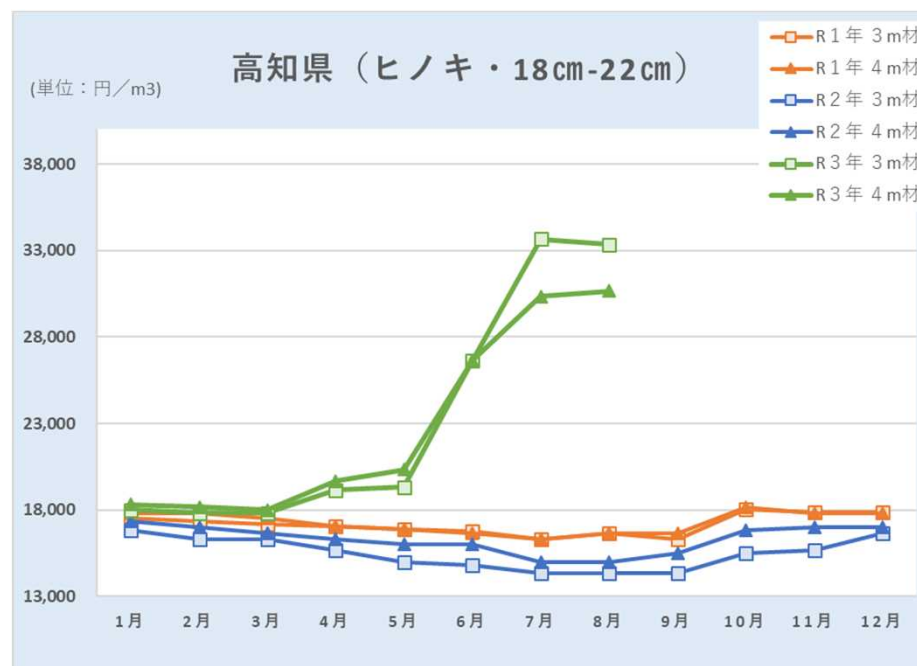
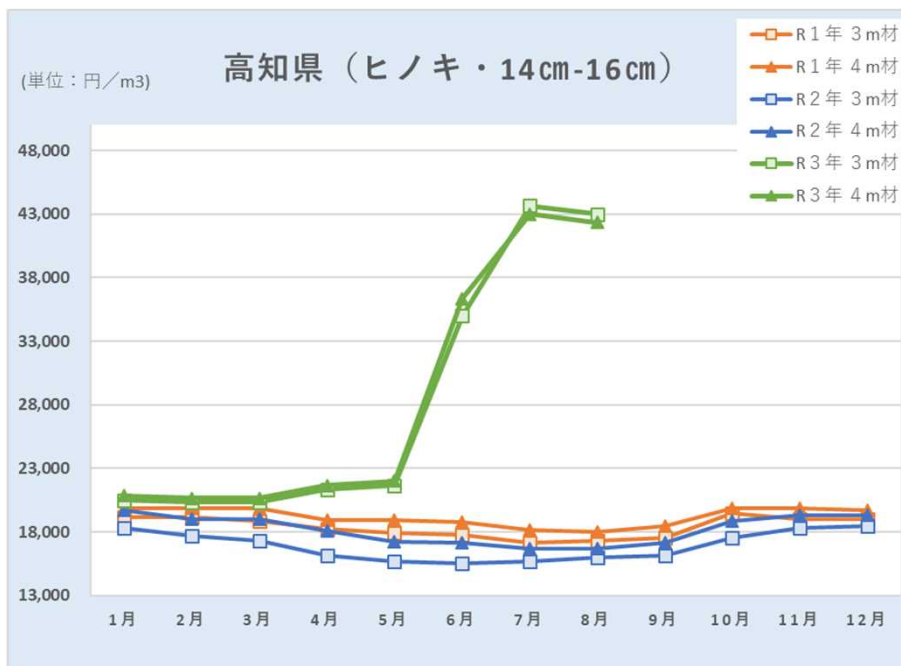


1-(5) 高知県内のヒノキ丸太価格の推移

- 令和2年は4月頃から梅雨期にかけて大幅に下落、ヒノキもスギと同様の傾向にあり9月頃からは回復傾向に転じ、1月には例年以上の価格まで上昇。
- 本年4月頃からは、スギと同様に製材品の好調な動きから買方の引き合いも良く、品薄・価格上昇の傾向が続き、原木需要の高まりにより6月頃には大幅に価格も上昇し高値を維持。
- 本年8月のヒノキ丸太価格は、対前年比104%増から169%増。

○ 8月のヒノキ丸太価格 (単位：円/m³)

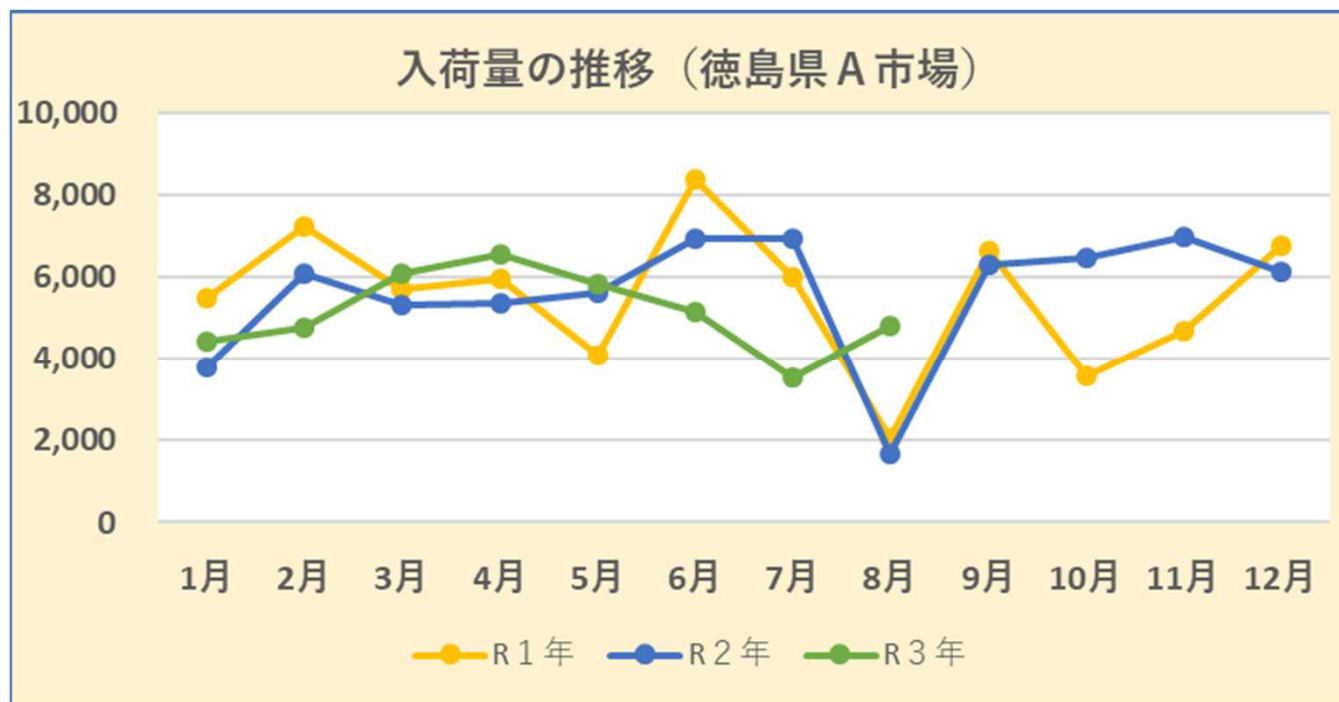
	14cm-16cm		18cm-22cm	
	3m材	4m材	3m材	4m材
令和2年	16,000	16,667	14,333	15,000
令和3年	43,000	42,333	33,333	30,667
対前年比	27,000	25,666	19,000	15,667
	269%	254%	233%	204%



Ⅰ 管内における主な原木市場・共販所の状況

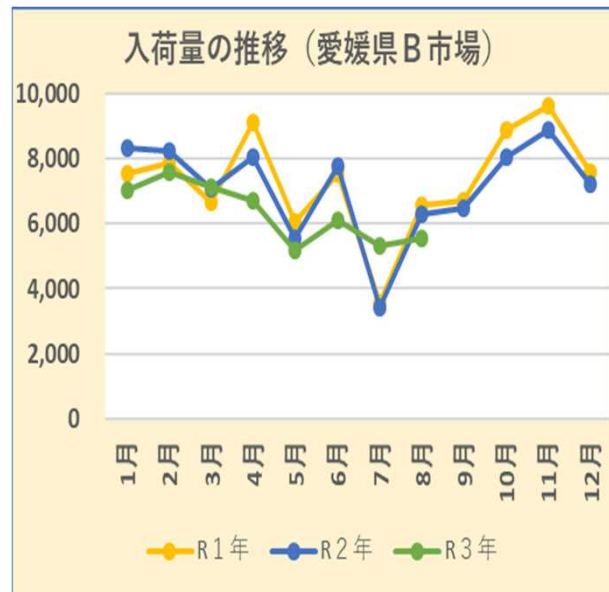
2-(1) 徳島県内の丸太取扱量の推移

- 本年6～7月の取扱量は、グラフから見る限り例年並の水準より少ない入荷量で推移し8月にやや回復傾向となっている。
- 直近では、入荷も増えやや落ち着きもみられる状況である。



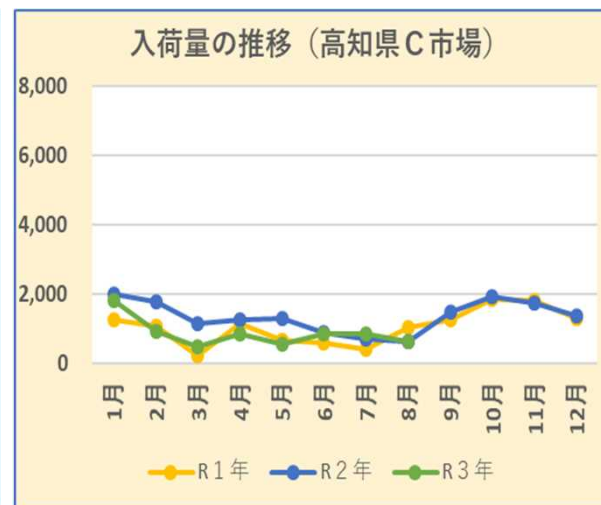
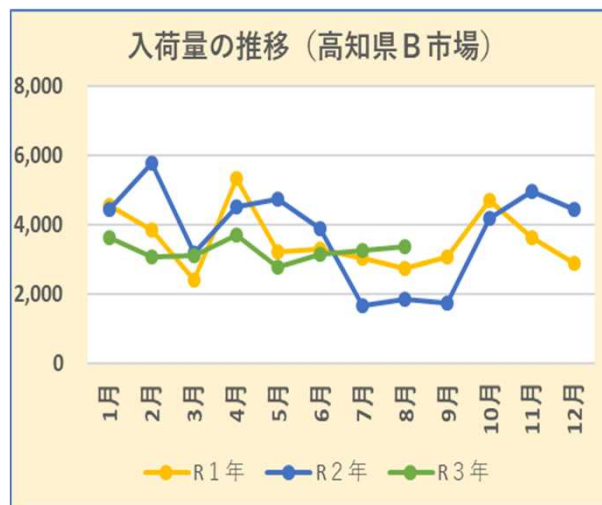
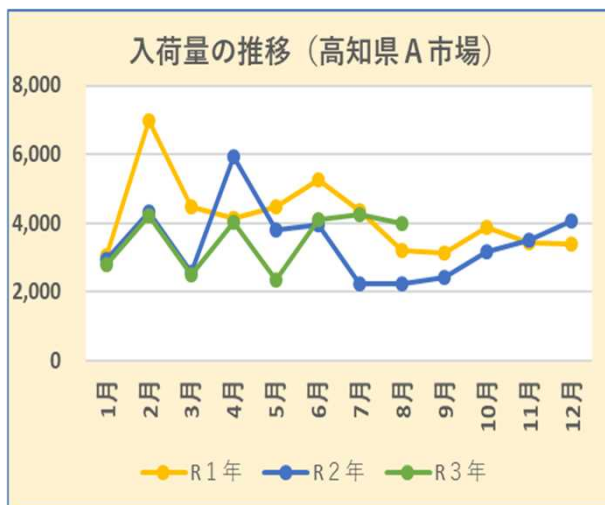
2-(2) 愛媛県内の丸太取扱量の推移

- 例年より早い梅雨入りで雨天が続いたため、5月に若干少なめとなった取扱量も6月以降は例年並みに回復。
- 一部の市場では、8月の長雨の影響で原木不足もみられている。



2-(3) 高知県内の丸太取扱量の推移

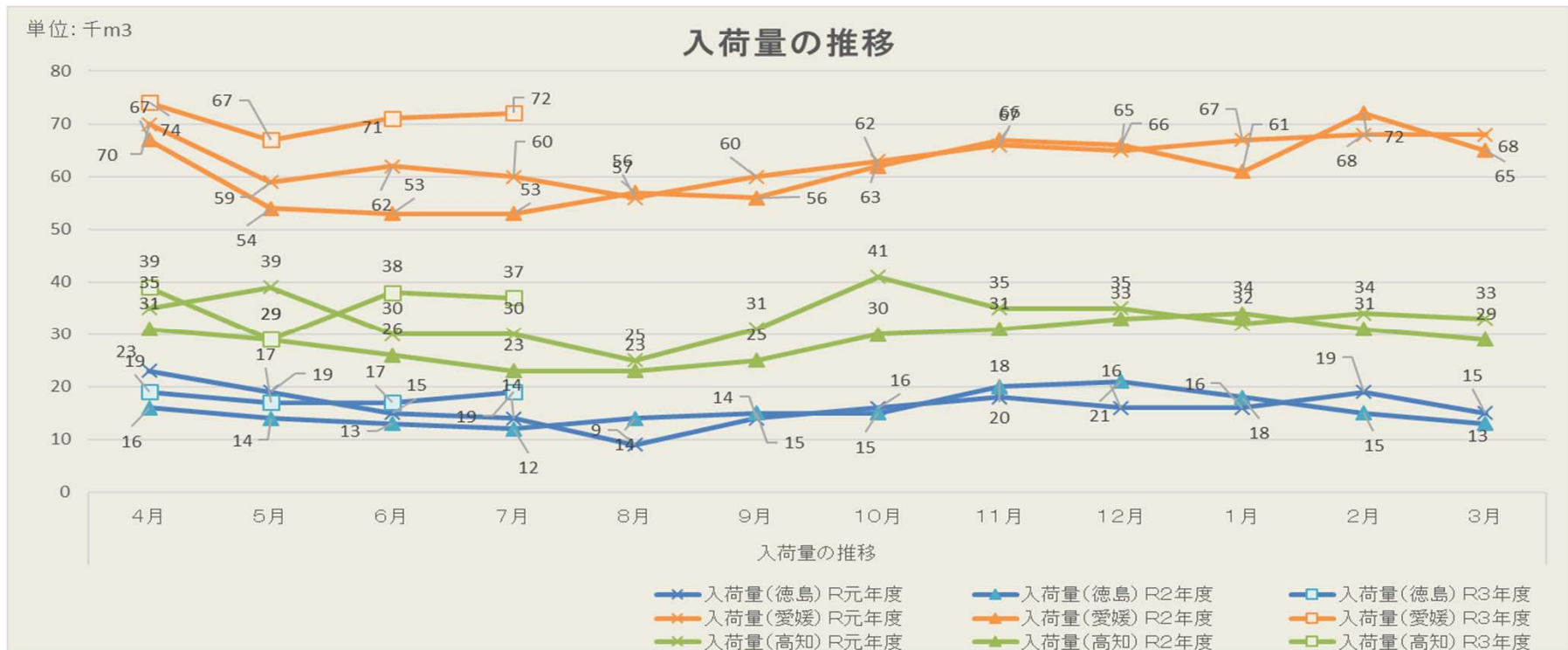
- 4月・5月と少なかった入荷量も6月以降、例年並みの水準に回復。
- 7月の出材は順調に推移してきたが、8月の長雨の影響もあり入荷量減少をみせた市場もある。
- 原木不足の状況は、依然として続いている。



II 管内における製材用素材の状況

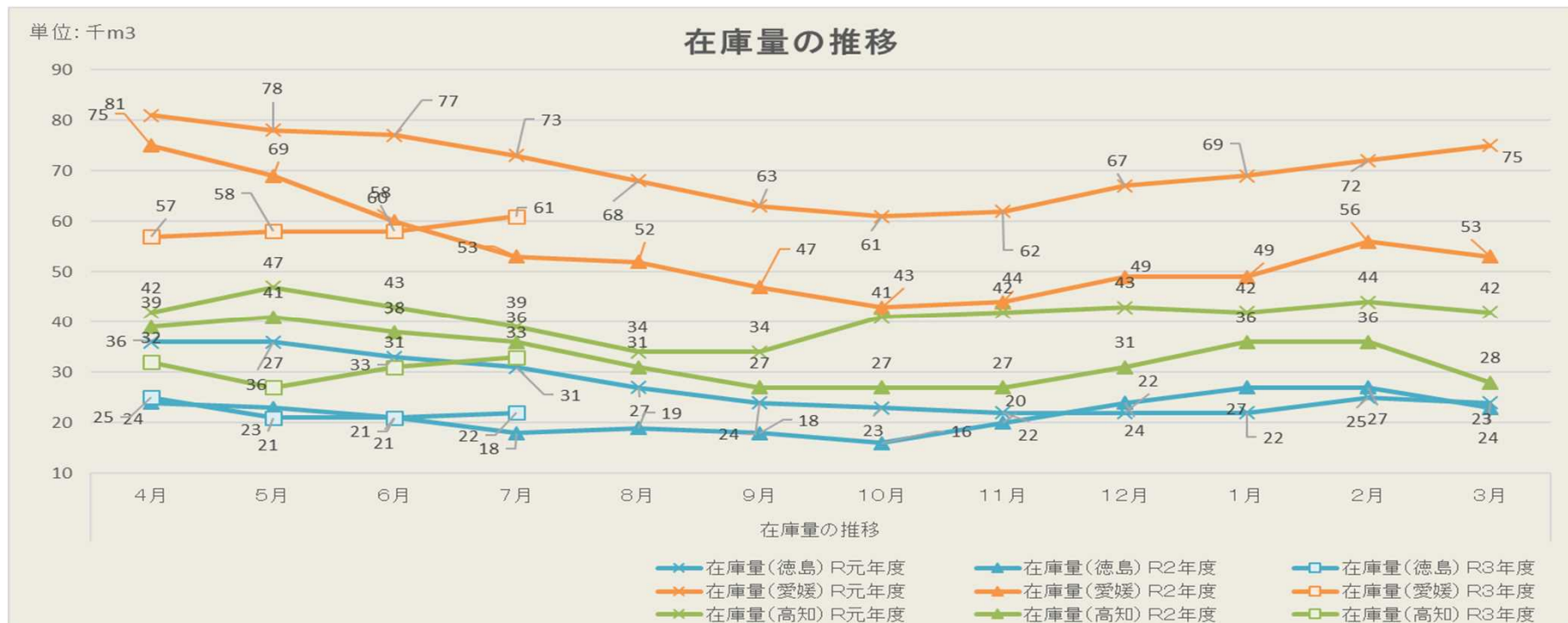
1. 県別の製材用素材入荷量の推移（令和元年度～令和3年度）

- ▶ 令和2年5月頃から製材各社の丸太買い控え等により減少していた入荷量も、8月頃から上昇に転じ、秋以降は概ね例年の水準に回復。
- ▶ 令和3年4月頃からは、製材品の好調な動きによる素材の引き合いは好調を継続し、愛媛県では4月以降昨年の入荷量を上回り、徳島県、高知県でも6月頃から昨年の入荷量を上回っている。



2. 県別の製材用素材在庫量の推移（令和元年度～令和3年度）

- 各県ともに令和2年6月以降大幅に減少した在庫量は、11月頃から一時上昇傾向に転じたものの、製材各社においては好調な生産活動が続く中、素材の入荷には苦勞しているため、在庫量の回復ペースは遅い。
- 令和3年6月頃から、在庫量の増加傾向は見られるが、例年の水準までは回復しきれていない。



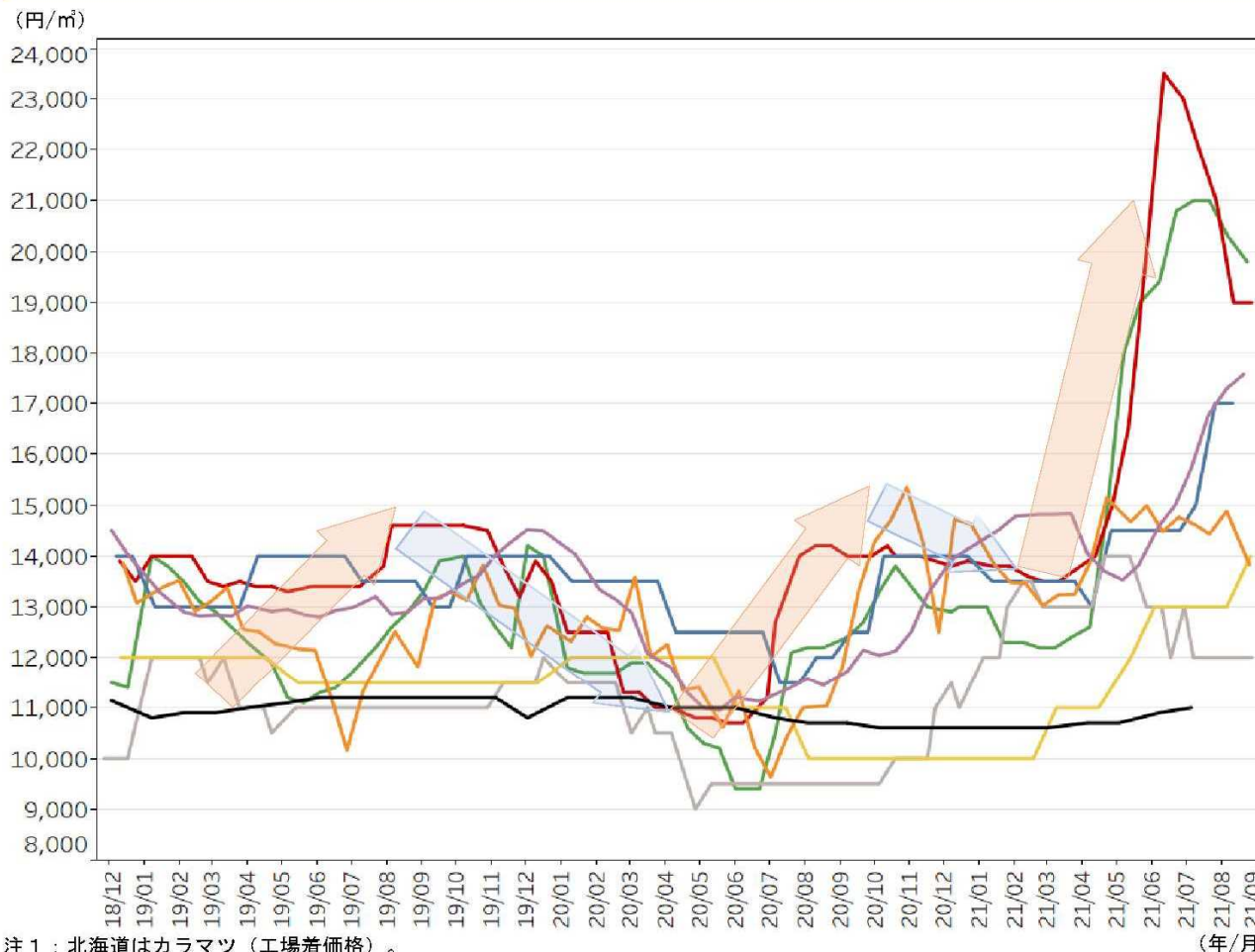
資料: 農林水産省「製材統計」

Ⅲ 全国の丸太価格の動向

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)

ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

- 2021年に入ってから、例年であれば春から梅雨時期にかけて原木価格が下落する時期にもかかわらず、4月以降、上昇が見られる地域が多く見られる。九州地域では価格が高騰したが、直近では下落傾向も見られる。
- 直近のスギ原木価格は、前年同期比25%から62%増となっている。



都道府県	2021年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	11,000	10,800	2%
秋田県	17,570	11,450	53%
栃木県	13,830	11,040	25%
長野県	14,000	10,000	40%
岡山県	12,000	9,500	26%
高知県	17,000	12,000	42%
熊本県	19,000	14,200	34%
宮崎県	19,800	12,200	62%

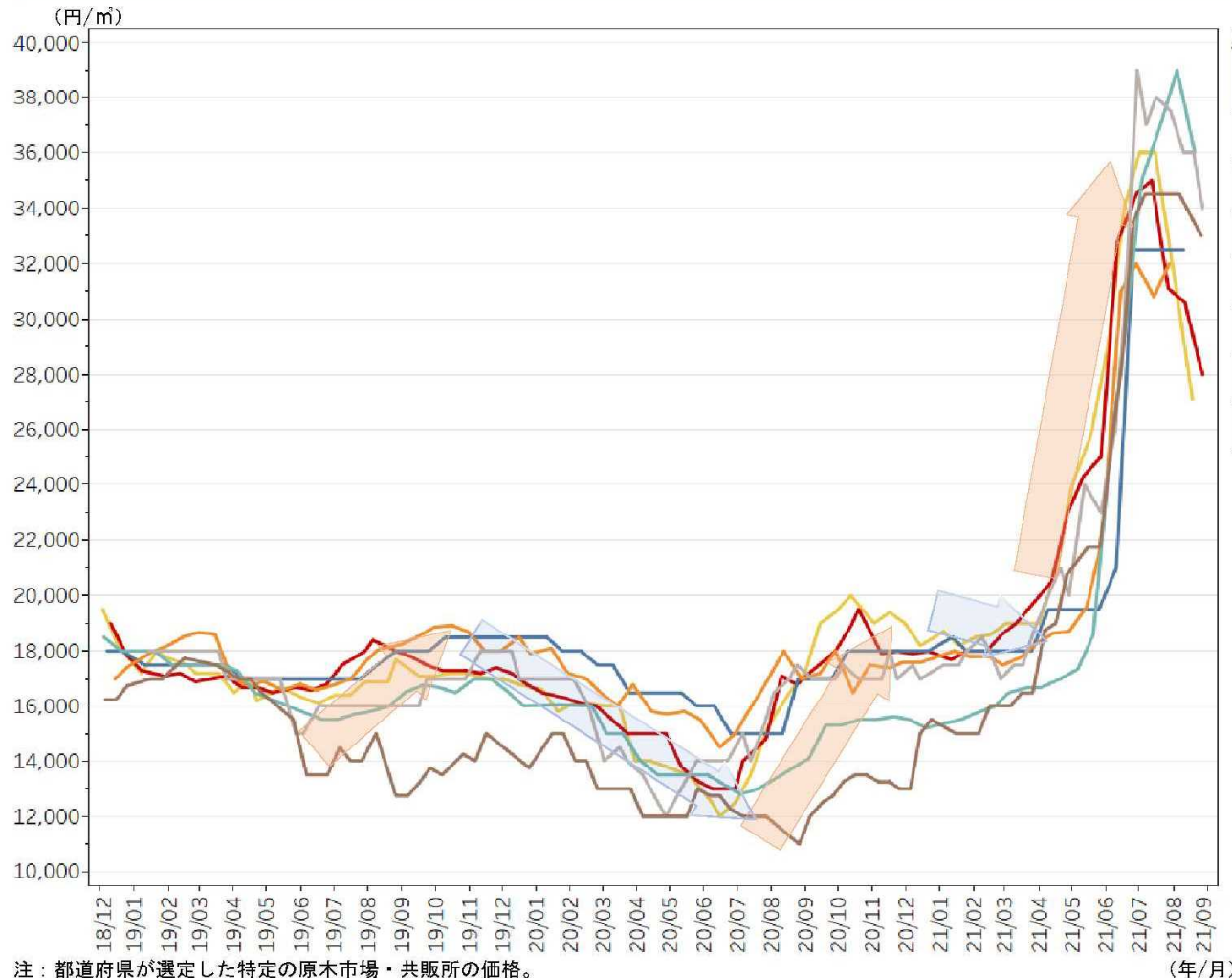
※秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については8月、北海道については7月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁「令和3年度第1回中央需給情報連絡協議会」

イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- ヒノキにおいてもスギと同様の傾向にあり、2020年6月頃の価格は例年以上に大きく低下したが、2021年に入ってから、例年であれば原木価格が下落する時期にもかかわらず、全ての地域で大きく上昇したが、直近では下落も見られる。
- 直近のヒノキ原木価格は、前年同期比58%から200%増となっている。



都道府県	2021年直近*	前年同期	前年同期比
兵庫県	33,000	11,000	200%
岡山県	34,000	17,500	94%
広島県	36,000	14,100	155%
愛媛県	32,000	15,000	113%
高知県	32,500	15,000	117%
熊本県	28,000	16,800	67%
大分県	27,000	17,200	58%

※兵庫県、岡山県、広島県、高知県、熊本県及び大分県については8月、愛媛県については7月の値を使用。

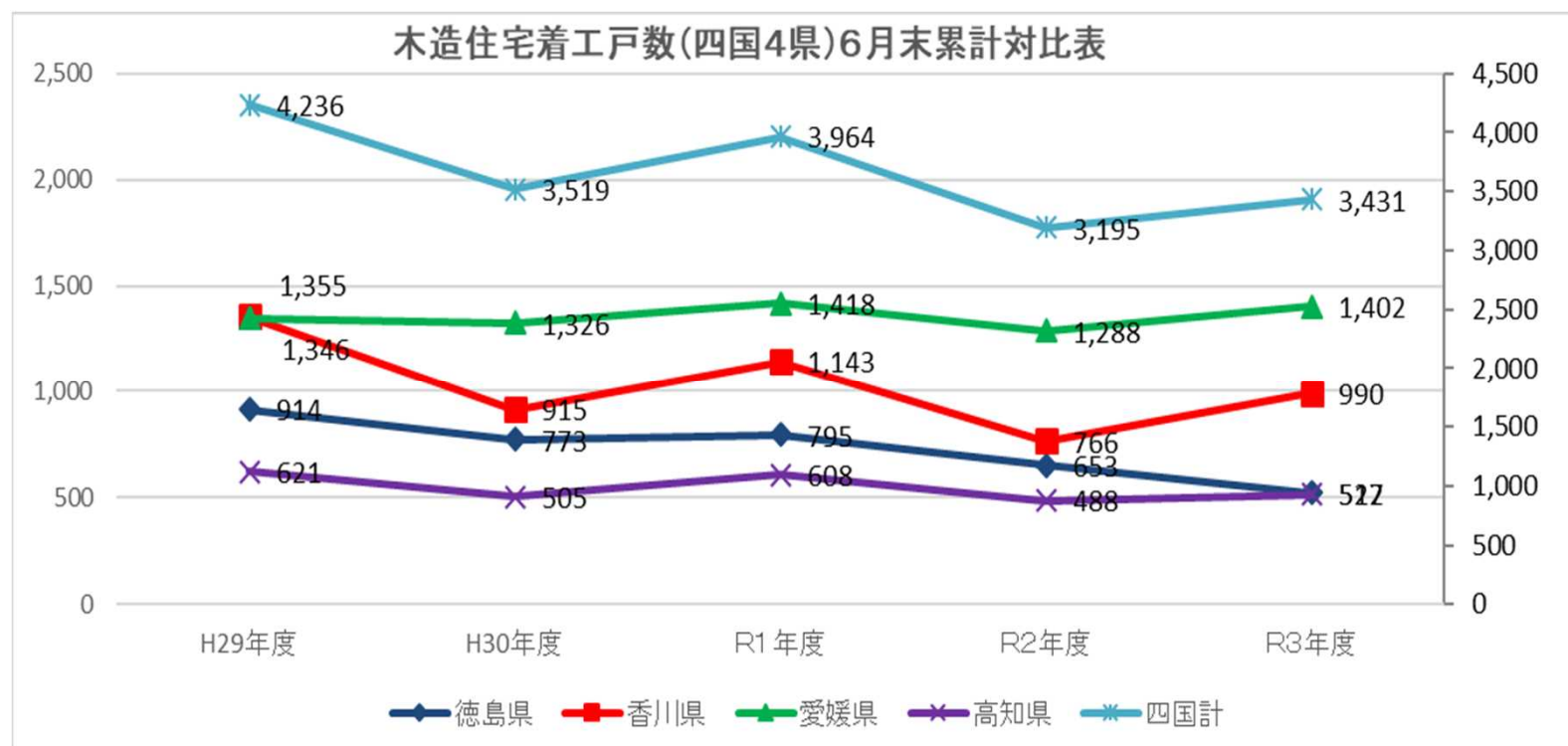
注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

資料：林野庁「令和3年度第1回中央需給情報連絡協議会」

IV 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移

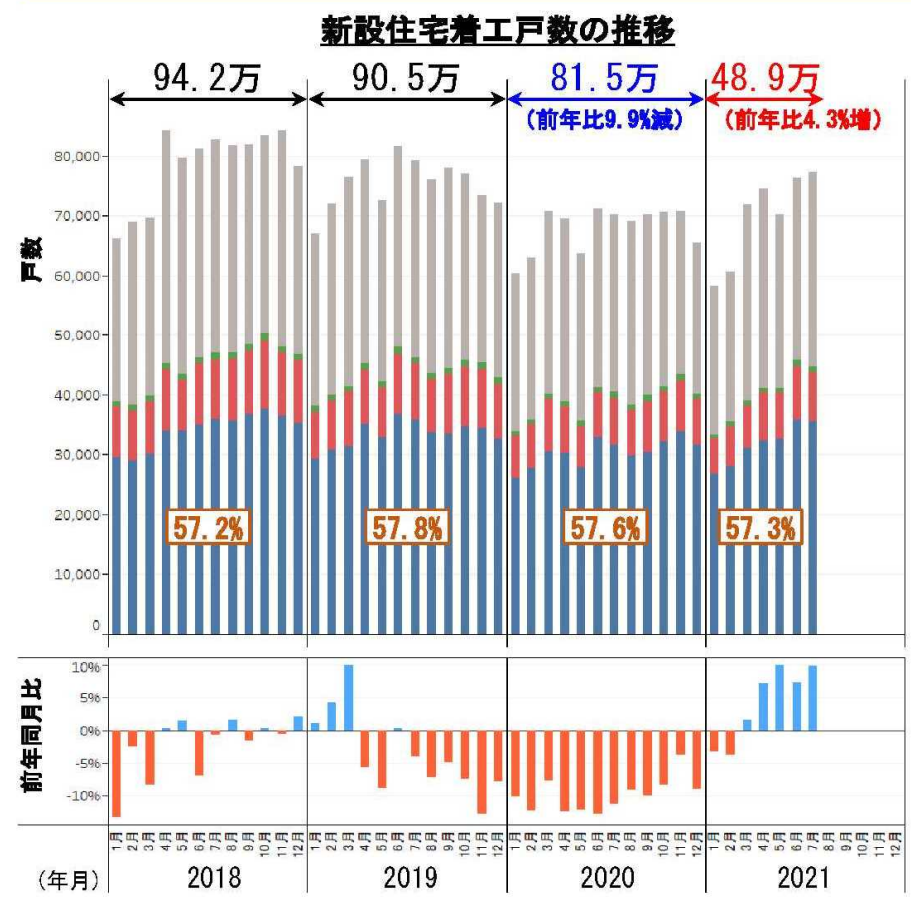
- 四国における木造住宅着工戸数の令和3年度6月末累計は、3,431戸で、前年同月末累計3,195戸に比べ7%増加した。
- 過去4年間での比較では、徳島県・香川県では減少率は大きく、愛媛県・高知県では概ね横這いで推移している。



資料:国土交通省「住宅着工統計」

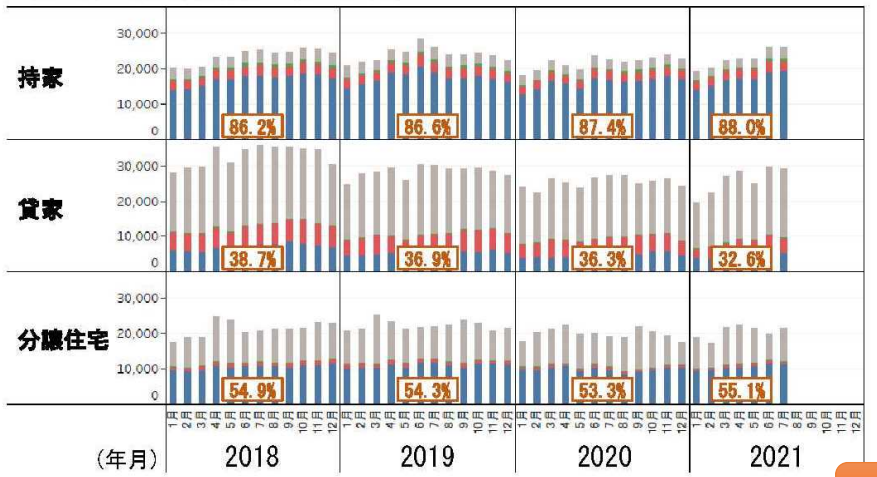
2 全国の住宅着工戸数の推移（平成30年1月～令和3年7月）

- 2020年の新設住宅着工戸数は、**81.5万戸**（前年比9.9%減）、このうち木造住宅は**46.9万戸**（同10.3%減）。
- 2021年1～7月の新設住宅着工戸数は、**48.9万戸**（前年比4.3%増）、このうち木造住宅は**28.0万戸**（同5.5%増）。
- 2020年は緊急事態宣言の発令により、住宅展示場の来場者数が落ち込むなど大手・注文住宅の受注機会が大幅に減少したが、郊外の戸建住宅に需要が高まるなど全体としてはリーマンショック時ほどの落ち込み※は見られなかった。
（※2009年の新設住宅着工戸数は前年比28%減となった。）



構造別の着工戸数	2021年 1～7月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	489,192	468,927	4.3%	528,354	-7.4%
■ 非木造	208,715	202,964	2.8%	226,993	-8.1%
■ 木造	280,477	265,963	5.5%	301,361	-6.9%
■ 木造プレハブ	5,567	6,075	-8.4%	7,012	-20.6%
■ 2×4	52,430	52,576	-0.3%	61,889	-15.3%
■ 在来軸組	222,480	207,312	7.3%	232,460	-4.3%
□ 木造率	57.3%	56.7%		57.0%	

（参考）利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）



資料：国土交通省「住宅着工統計」

資料：林野庁「令和3年度第1回中央需給情報連絡協議会」

「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料2)

分析結果

(ア) 木材価格の前月比における逸脱の有無

調査月 令和3年4月～令和3年7月

【スギ中丸太】 ・6月は逸脱上限値を上回ったが、7月には定常範囲に戻った。

【ヒノキ中丸太】 ・6月及び7月と逸脱上限値を上回った。

(イ) 木材価格の前月比における下落(上昇)の継続

調査月 令和3年4月～令和3年7月

【スギ中丸太】 ・5ヶ月未満である。

【ヒノキ中丸太】 ・5ヶ月以上である。

(ウ) 木材価格の前年度同月比における逸脱の有無

調査月 令和3年4月～令和3年7月

【スギ中丸太】 ・6月及び7月と逸脱上限値を上回った。

【ヒノキ中丸太】 ・6月及び7月と逸脱上限値を上回った。

(エ) 木材価格の2ヶ年平均価格比における逸脱の有無

調査月 令和3年4月～令和3年7月

【スギ中丸太】 ・7月に逸脱上限値を上回った。

【ヒノキ中丸太】 ・6月及び7月と逸脱上限値を上回った。

(オ) 製材用素材の在庫率における逸脱の有無

調査月 令和3年4月～令和3年7月

【徳島県・愛媛県】 ・定常範囲を逸脱した動きはなかった。

【愛媛県・高知県】 ・5月は逸脱下限値を僅かに下回ったが、6月には定常範囲に戻った。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領（平成25年7月30日付け25四資第19号）の2の（ア）から（オ）に係る確認

〔判断基準・指標〕

○ 過去10年間の月別データを基に、平均と標準偏差から95%の信頼区間を算出し、その区間を逸脱するか否かを確認

○ 使用データは、農林水産省の「木材価格」・「製材統計」を使用

○ 丸太価格、在庫率の変動

1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

	逸脱上限値				逸脱下限値				逸脱上限値				逸脱下限値			
	5.90%				-5.71%				20.05%				-19.50%			
	16.32%				-16.42%											
	前月比 (%)				連続上昇・連続下落 (月)				前年同月比 (%)				2ヶ年平均価格比 (%)			
	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月
スギ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	3.02%	0.67%	<u>14.90%</u>	4.66%	1	2	3	4	4.86%	7.54%	<u>23.29%</u>	<u>31.81%</u>	3.66%	2.93%	15.47%	<u>19.21%</u>

注1) 数値のアンダーラインは定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

	逸脱上限値				逸脱下限値				逸脱上限値				逸脱下限値			
	8.86%				-8.68%				25.09%				-28.34%			
	20.86%				-25.26%											
	前月比 (%)				連続上昇・連続下落 (月)				前年同月比 (%)				2ヶ年平均価格比 (%)			
	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月
ヒノキ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	3.86%	5.69%	<u>13.51%</u>	<u>35.65%</u>	3	4	5	6	13.48%	22.10%	<u>40.63%</u>	<u>91.87%</u>	9.88%	13.52%	<u>25.60%</u>	<u>66.81%</u>

注1) 数値のアンダーラインは定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

3 製材用素材の在庫量

	素材の在庫率				逸脱上限値	逸脱下限値
	4月	5月	6月	7月		
製材用素材(徳島・愛媛)	1.01	0.96	0.94	0.97	1.90	0.79
製材用素材(愛媛・高知)	0.92	<u>0.87</u>	0.89	0.92	1.58	0.88

注1) 数値のアンダーラインは定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 在庫率のデータは農林水産省の「製材統計」を使用し、算出したものである。